

第66回

東北・北海道地区 母子寡婦福祉研修大会

(第48回北海道母子寡婦福祉研修大会)

日時 令和4年9月3日(土)・9月4日(日)

会場 札幌市・定山溪万世閣ホテルミリオーネ

開会式



主催者あいさつ 畑和子理事長

メインテーマ
「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」
研修討議テーマ

- ① 「目指そう自立、活かそう支援策」
- ② 「母子と寡婦、共に育む子どもの未来」
- ③ 「すべての子どもに安心と希望を！」

道母連だより

歓迎の挨拶



秋元克広札幌市長



知事と市長さんに子ども達から花束



鈴木直道北海道知事

第97号

発行日/令和4(2022)年10月1日
 発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会
 〒060-0031 札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
 電話 (011) 261-0447
 ●題字は山高しげり先生 ●印刷 懐アイワート

ご祝辞



和田義明衆議院議員



中村裕之衆議院議員



東北各県・全道各地からの参加者

主催者挨拶



全母子協西塚憲子理事
(山形県母連理事長)



行政説明

厚生労働省子ども家庭局
家庭福祉課母子家庭等自立支援室長
齋藤晴美さん

メインテーマ（令和4年度全国統一活動テーマ）
「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

を無事に終了しました。

コロナにより2年連続
中止となっていた東北・
北海道地区母子寡婦福祉
研修大会は、3年ぶりに
札幌市定山溪で開催さ
れ、東北各県、全道各地
から300名の参加で
開催されました。畑和子
道母連理事長、全母子協
会長の主催者あいさつで
開会し、ご来賓の方々の
歓迎のあいさつ、祝辞が
続きました。その後、厚



勝部賢志
参議院議員



高橋はるみ
参議院議員



船橋利実
参議院議員



ご来賓の方々



細川正人
札幌市議会議員



小畑保則
北海道議会議員（代理）



岩本剛人
参議院議員

講演



演題「火山とともに生きる」
講師 三松三朗さん
（三松正夫記念館館長）



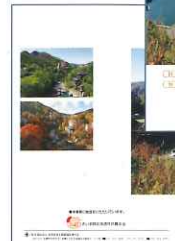
昭和新山の観測と
保護に生涯をかけた
三松正夫の二代
目として地域防災
を語る



ご来賓と参加の方々



賑わう売店



プログラム

第1日目

13:00 開会式

開会のことば
 黙 禱
 「母に幸あれ」斉唱
 主催者あいさつ
 社会福祉法人
 北海道母子寡婦福祉連合会理事長
 一般財団法人
 全国母子寡婦福祉団体協議会理事
 歓迎のあいさつ 北海道知事
 札幌市長

来賓祝辞
 来賓紹介
 祝電披露
 花束贈呈 北海道知事
 札幌市長

13:50 行政説明

厚生労働省 子ども家庭局 家庭福祉課

14:50 前年度決議事項・処理報告

15:00 研修討議

18:00 交流会

第2日目

9:00 オープニング

9:40 講演

11:10 ……休憩……

11:15 母子部長会議報告

11:25 宣言・決議

11:40 閉会式

あいさつ 次回開催地 秋田県代表
 閉会のことば

「今日の日はさようなら」斉唱



畑理事長
あいさつ



【交流会】静かに食事



2日目オープニング



勇壮な熊舞が会場を圧倒

宣言・決議



力強く宣言・決議

母子部長会議報告



各地区の母子部長より報告

閉会式

次期開催地
秋田県母連会長



東北・北海道地区母連会長

研修討議

- テーマ ①「目指そう自立、活かそう支援策」
 ②「母子と寡婦、共に育む子どもの未来」
 ③「すべての子どもに安心と希望を！」



コーディネーター
塩谷隆治さん



7地区の提言者からテーマに添って発表



心身を温めるために
「タラバガニ！」とエール



札幌公共職業安定所・道保健福祉部・
全母子協からの助言者の方々

登別温泉

郷土芸能「熊舞—くままい—」

令和4年度 北海道善行賞 (優良ひとり親家庭) 表彰



音更町ブルースカイ

田邊 千佐子

製材会社の事務兼作業員として働く私のパート収入は当時10万にも満たず、深夜のコンビニでバイトを始めました。強い覚悟で歩み出した母子4人での生活でしたが、工場での重労働とバイトと家事で2、3時間睡眠が当たり前となり精神的にも体力的にも限界寸前でした。「倒れてしまいたい...」「どうか倒れませんか...」葛藤と折りの様な毎日でした。時間の許す限り働いても生活は足りず、途方に暮れ過ぎて出た言葉が「田邊家、



頑張ることに疲れた時に訪れる十勝(上士幌町)の広大な景色に癒されて

氷河期に入ります」繰り返される氷河期宣言で貧しさも笑いになりました。3人の成長と共に活動範囲も広がり怒涛の送迎時代に突入すると、当時3台あった覆面の内2台に乗り打ちひしがれる私に「ママ凄いな、あと1台乗ったら全制覇じゃん!!」物事は考えようだと娘に教わりました。

世間や周りを見渡す余裕など全く無く、今を生きる事しか考えられなかった私が今回このような賞を受賞する事が出来たのも、声を掛け導いて下さった方々のお陰です。どん底と思える状況のお陰で、小さな幸せにも沢山気付きました。いつか、道に迷い過ぎ不安になった息子に「ここで皆んなで死ぬの?」

と言われた温泉旅行を、もう一度やり直したいです。

小樽市ひとり親と寡婦の会

目時 香

この度は、北海道善行賞という名誉ある賞をいただき深く感謝申し上げます。

息子が1歳半でひとり親となり、当時の私は専業主婦で若く、社会経験も乏しく就職に苦労しましたが、家族や保育園に支えてもらい、何とか生活できる基礎を作ることが出来ました。息子は元気に成長して、たくさんの大切な仲間や恩師に出会います。中学生になり反抗期もありましたが、担任の先生や仲間を支えられ無事に過ぎました。高校は夢を叶える為、地元を離れ下宿生活を送ることになりました。金銭面で大変でしたが息子の夢を応援したい一心で、奨学金や下宿先の行政の支援をいただき、息子の努力が実り、更なる夢に向かい希望の大学に進学しました。ここまで私たち親子が苦勞を乗り越えられたのは、たくさんの方々や支援のお陰です。この賞は私が受賞したというよりは、支えてく



支えてくれた3人の妹の家族と



れた方々に感謝の気持と合わせて贈りたいです。最後に、今まで自分が歩んだ「ひとり親」としての経験を、これから子育てを頑張る世代の方へ伝え、「ひとり親だって夢は叶えられる」とエールを送れる存在になりたいです。そして、たくさん支えていただいた恩返しが出来ればと思います。

鈴木直道北海道知事 センター食堂にご来店

5月9日(月)、鈴木直道知事がセンター食堂にご来店くださいました。「やつと約束を果たせました。」と、予定をオーバーして1時間半近く、食事やお話をしてくださりました。又のご来店をお待ちしております。



役職員と記念撮影

令和4年度共同募金助成金は、東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会、広報紙発行に充当させていただきます。ご報告し、お礼を申し上げます。



大勢のご来店有難うございます



近況報告



◀ソフトクリームラインアップ
▶プレゼントしています!



特注キットカット



▲ニッケン、セイチャンもマスクしています

祝 新千歳空港 カフェテラスBoren開所 30周年記念

新千歳空港開所と同時にスタートしたカフェテラスBorenは、7月1日(金)に30周年を迎えました。コロナ禍の厳しい状況下も、感染防止に配慮しながら休むことなく営業を継続しました。お客様への感謝を込め、ご来店の方へ記念の「キットカット」をプレゼントしました。



千歳市のお母さんと兄弟。空港に用事で来られ一休み。弟君の「いいよ。」の一声でスリーショット



30歳のアメリカ人の青年。3年前に来日、これから神戸で英語の先生をされます



岐阜県の税理士さんご夫妻。レンタカーで5泊6日の道内観光を楽しみました

奨学金を生かして翔く 夢に向かって、志高く!

藤石 真実 大学4年



現在は、頼られる理学療法士を目指して勉強に励んでいます。奨学金に感謝しています。

高間 翔 19歳



今は目標であった地元の役場に勤め、生まれ育った町の事を学びながら、地域貢献できるよう頑張っています。

丸山 ちえり 23歳



高校を卒業して4年目。希望していたアパレルの仕事で、副店長を目指して奮闘中です。接客が楽しいです。

桑田 航 大学2年



将来の夢は中学校教諭になることです。今は、人前で話をする事に慣れる為、模擬授業で経験を積んでいます。

宮本 蓮汰 大学1年



理学療法士を目指して入学。将来はサッカーの経験を活かし、スポーツ系のリハビリに携わる仕事がしたいです。

大塚 彩加 21歳



私は現在看護師として働いています。患者さんや家族の方に寄り添える看護師を目標に頑張ろうと思っています。

原 高将 21歳



車両整備の仕事に就き、資格も取得したので更に経験を積み重ねたいです。

黒滝 すずな 大学1年



管理栄養士を目指しています。食から健康を考え、社会に貢献したいと思っています。奨学金有難うございました。

田中 碧依 専門学校1年



私は今、夢を叶えるために看護学校に通っています。技術のある立派な看護師を目指し、勉強や演習に励みます。

藤長 心 専門学校1年



私は今、リハビリ系の学校に通っています。これから勉強が忙しくなるので友達と共に乗り越えていきます。

西川 涼夏 23歳



今は、福祉施設で知的障がい者の自立を支援する仕事で頑張っています。奨学金をいただき感謝しています。

米山 涼介 19歳



現在、陸上自衛官として勤務しています。いつかは通訳になりたいと考え、少しずつ努力をして夢を叶えます。



私は現在、某奨学金財団様や学友と共に自己を研鑽し、大学院進学のために日々励んでおります。



私は現在、町内の農場に勤めています。農業高校で学んだ知識を生かして、これからも頑張ります。



研究室で、半導体光触媒を用いた水素エネルギー生成の研究をしながら、大学院進学に向けて頑張っています。



私は現在、建築会社に勤務して、現場監督の仕事をしています。多くの経験を積んで精進していきたいと思います。



今年4月から祖父の会社(鉄工業)に入社しました。技術を学び、地元で貢献していきたいと考えています。



障がい者の生活支援、介助の仕事をしています。将来は資格を取得し、今以上に人の為になる様に働きたいです。



保育士になる夢に向かって勉強し、結婚してからも保育士を続けています。中学生の娘も保育士を目指しています。



コンクリート工場の事務で働き、仕事は毎日楽しくて周りの人々にも恵まれています。これからも頑張っていきます。

夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」では、北海道で12名に給付されました。

令和4年度も道新振興基金さん、北洋銀行さん、みどりところの基金さんから助成をいただき、313名に奨学金が給付されました。



苦しい難病生活を終えた祖父の死から命の大切さを学び、介護士になり現在、大勢の祖父母と楽しい生活です。



歌うことが好きで、札幌のミュージカル劇団で役者と制作をしています。観たら元気になる作品作りを目指しています。

あなたがいることで 作詞・作曲 Uru

どんな言葉で
今あなたに伝えられるだろう
不器用な僕だけ
ちゃんとあなたに届くように

明日が見えなくなっても
信じるのが怖くなって
過去を悔やんで責めたりもしたけど
僕を愛し続けてくれた人

もしも明日世界が終わっても
会えない日々が続いたとしても
僕はずっとあなたを想うよ

あの日僕にくれたあなたの笑顔が
生きる力と勇気をくれたんだ
星が見えない 孤独な夜でも
あなたがいる ただそれだけで
強くなれる

目が合えば笑って
一緒にいれば楽しくて
共に過ごした毎日は
かけがえのないものだった

向かい風が冷たくて
忘れてしまいたいそうになるけど
通り過ぎてきた何気ない日々の中に
僕らの幸せは確かにあった

もしも明けない夜の中で
一人静かに泣いているのなら
あなたが僕を信じてくれたように
次は僕がその手を強く握るから

傷つくことから逃げていた
この心動かすのは
弱さを見せないあなたが
初めて見せた涙

いつか僕に話してくれた
あなたが描いた未来の中に
僕と一緒にいられるように

あなたがいることでどんな明日も
歩いていける光になるから
星が見えない孤独な夜でも
信じられる 僕らまたここで
笑える日を

特別頒布事業実施中（～令和5年2月）

ご協力をお願いします



5倍濃縮 1ℓ入り
6本より送料無料

株式会社堀内八郎兵衛



パッケージと商品名が変更となりました。
新商品名 幸だし 鰹
厳選した国内原料を使用しています。
■ 焼津製法本枯れ節
■ 焼津製法荒節
■ 熊本県産うまめ粉
■ 焼津産塩梅干し鰹節
■ 茨城県産香信椎茸
■ 北海道産判原産物

製法・原料・内容量に変更はございません。
以前同様、美味しいですが味わえます。

ティーパック方式
8.8g×30包入

有限会社サンセイル



「トイレ清掃基本知識について」
講師のタケヤ刷子工業(株)
関谷裕幸取締役営業部長

令和4年度
清掃作業従事者研修会
日時 6月4日(土)
9時～17時30分
場所 母子センター研修室
参加数 29名



各現場報告



体験しています



グループディスカッション



熱心に研修する参加者

おくやみ

ご逝去をいたみ謹んで
ご冥福をお祈りいたします。

安達愛子さん 令和4年1月2日

道母連9代目会長

お話が上手で、文章も長けていて一目置かれる存在でした。喪主の方が東京の為、日頃の状況が分からず、新聞で知った次第です。

松永文美さん 令和4年1月11日

道母連理事・監事

いつも着物姿で、監査の折はしっかりと書類を見て厳しい監査をされました。亡くなる3日前にも道母連でお元気におしゃべりされていました。

高田悦子さん 令和4年8月15日

元札幌市母子寡婦福祉連合会会長

お三方とも母子団体の大変な時期からご尽力されました。先に逝かれた先輩たちに、最近の道母連や札幌市母連の状況を報告されている事でしょう。

編集後記

コロナは変異しながら感染拡大を繰り返し、収束が見えないまま3年目になります。この間、母子会には、行政や様々な団体等から数多くのご支援をいただきました。

弱い立場のひとり親を支えるべき母子会は、この3年間、会員に寄り添った活動が出来ていたでしょうか。

我が単位会として振り返った時、助成金の削減と自主事業中止による収入減等が重なりましたが、特に母子会員にとっては、平時より手厚い活動が出来ました。マスク不足の折には、地域の方から手作りマスクのプレゼント、たくさんの野菜、お米や缶詰やお菓子、ジュース等のプレゼント等々、活動費が減少の中でこの様なプレゼントは大変有難く、配布の際には、短時間ながら楽しいコミュニケーションの機会にもなりました。

また、各種奨学金も多くのひとり親家庭に支給されました。公募もありますが、母子会に加入していればこそその申請手続き指導、優位性による支給がほとんどです。

母子会の解散、上部団体からの脱会が後を絶ちませんが、その結果、一番弱い立場の地域の母子が置き去りになることを、役員、寡婦は重く受け止め、母子会の継続、若い母子の加入促進こそが喫緊の最重要課題です。(安達史子)